

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成24年度 年度計画

目次

- 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 医療サービス
 - (1) 良質な医療の実践
 - (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
 - (3) 災害時等の対応
 - 2 医療の質の向上
 - (1) 診療体制の強化・充実
 - (2) 病院スタッフの確保と教育・研修
 - (3) 信頼される医療
 - 3 患者サービス
 - (1) 患者サービスの向上
 - (2) ボランティアとの共働
 - 4 法令遵守と情報公開

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 運営組織
 - 2 収支改善
 - (1) 増収
 - (2) 費用削減
 - 3 人事・給与

- 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
経営基盤の確立

- 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
 - 1 新病院に向けた取組
 - 2 福岡市民病院の経営改善の推進

- 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 - 1 予算（平成24年度）
 - 2 収支計画（平成24年度）
 - 3 資金計画（平成24年度）

- 第6 短期借入金の限度額
 - 1 限度額
 - 2 想定される短期借入金の発生事由

- 第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

- 第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（平成24年度）
- 2 人事に関する計画

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

(1) 良質な医療の実践

こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割に応じて医療需要の変化や新たな医療課題に適切に対応するため、次のとおり診療機能の充実に取り組む。

ア こども病院・感染症センター

中期計画に掲げる事業について、実施済みのものも含め、さらなる充実を図るとともに、以下の事業に取り組む。

- ① 休日・夜間の救急診療体制を強化するため、医事部門業務を22時（現在は17時）までに延長するとともに休日の業務を開始する。
- ② 産科については、地域の基幹病院との連携を図りながら地域周産期母子医療センターとしての役割を果たす。
- ③ 高度専門医療のさらなる充実を図るため、効率的な手術体制の構築に努めながら高度な手術に適切に対応する。
- ④ 第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、一部の病床の移管が認められたが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、国（検疫所等）、県及び市と連携し、その役割を継続して果たす。

【目標値】

指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
1日当たり入院患者数（人）	150.0	155.0
平均在院日数（日）	9.9	9.9
1人1日当たり入院単価（円）	92,617	97,945
1日当たり外来患者数（人）	276.0	292.0
1人1日当たり外来単価（円）	10,575	10,818
手術件数（件）	2,100	2,200
救急搬送件数（件）	720	720

【関連指標】

指 標	平成22年度 実績値
心臓血管外科手術件数（件）	432
小児外科手術件数（件）	436
整形外科手術件数（件）	388
心臓カテーテル検査件数（件）	538
新生児科入院患者数（人）	177
新生児循環器科入院患者数（人）	126

イ 福岡市民病院

中期計画に掲げる事業について、実施済みのものも含め、さらなる充実を図るとともに、以下の事業に取り組む。

- ① 高度専門医療を拡充するため、平成24年度診療報酬改定における「医療技術の適切な評価」に鑑み、手術室の機器整備を行い、難易度の高い胸腔鏡・腹腔鏡下手術を拡大する。
- ② 高度救急医療の提供体制を強化するため、救急部に新たに救急専門医を配置し、病床を持った臨床部門として整備する。
- ③ 急性期リハビリテーションの需要増加に対応するため、リハビリテーション部門を拡充・強化する。
- ④ 当院の専門性を生かすとともに、高度専門医療機器を活用して脳、心臓や癌等に特化した「専門ドック」を開始する。

【目標値】

指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
1日当たり入院患者数（人）	187.4	190.0
平均在院日数（日）	14.0	12.5
1人1日当たり入院単価（円）	56,447	56,500
1日当たり外来患者数（人）	250.0	300.0
1人1日当たり外来単価（円）※	13,600	14,000
手術件数（件）	2,300	2,500
救急搬送件数（件）	2,100	2,200

【関連指標】

指 標	平成22年度 実績値
がん退院患者数（人）	750
脳卒中退院患者数（人）	372
心臓カテーテル検査件数（件）	361
糖尿病退院患者数（人）	865
肝疾患退院患者数（内科）（人）	422
脊椎外科手術件数（件）	258

(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

ア こども病院・感染症センター

小児医療の基幹病院として適切に紹介患者を受け入れ、高度専門医療を提供するとともに、症状の安定した患者については積極的に地域の医療機関への逆紹介を推進するなど、地域連携室の業務の強化に努め、地域医療支援病院としての機能充実を図り、病病・病診連携を推進する。

また、地域の診療所への広報の充実を図りながら、登録医への情報の提供やオープンカンファレンスの利用促進に取り組む。

ドクターカーについては、有効に活用しながら患者搬送を行う。

イ 福岡市民病院

地域医療支援病院としての役割を果たすため、病診連携を推進し、開放型病床の登録医数や共同利用率の増加を図り、かかりつけ医の支援体制を強化する。

地域連携パスを基調とした病病連携を広く構築し、切れ目のない地域完結型医療の促進を行う。

【目標値】

指 標		こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
紹介率 (%)		91.0	91.0	78.0	80.0
逆紹介率 (%)		18.0	25.0	55.0	80.0
オープン カンファ レンス	回数 (回)	30	30	28	30
	参加者数 (人)	340	360	800	800
開放型病床への登録医 数 (人)		60	110	90	130

(3) 災害時等の対応

災害発生時やその他の緊急時で市長の求めがあった場合等において、福岡市地域防災計画、各種疾患の対策行動計画等に基づき、適切に対応する。

また、災害発生時等に万全な対応を図ることができるように院内防災マニュアルの整備や消防署との連携による消防・防災訓練を行うとともに、備蓄物品等の必要物品等の確保に努める。

2 医療の質の向上

(1) 診療体制の強化・充実

中期計画に掲げる事業について、実施済みのものも含め、さらなる充実を図るとともに、各病院において以下の事業に取り組む。

ア こども病院・感染症センター

(ア) 地域周産期母子医療センターとして地域の基幹病院との連携を図りながら周産期医療の充実に努める。

(イ) ICU・NICUの看護師を増員し、看護体制の充実を図る。

(ウ) 小児感染症科医を増員し、診療体制を強化する。

イ 福岡市民病院

- (ア) 前年度に実施した外来部門での臓器別センター化の機能を充実させるとともに、新たに入院部門の臓器別センター化に取り組み、チーム医療による診療体制の強化を図る。
- (イ) 救急部病床を6床程度、病棟に設置し、高度救急医療のさらなる充実を図る。
- (ウ) 腎臓内科医師を新たに配置し、血管外科医師と共に腎センターを立ち上げ、腎疾患患者治療の拡充・強化を図る。
- (エ) 関節外科の専門医を新たに配置し、整形外科領域を拡充・強化する。
- (オ) 前年度に設けた資格取得支援制度を活用して養成した認定看護師3名を各看護分野に配置し、専門性の高い看護を提供する。
(救急，がん化学療法，感染管理の各部門への配置)
- (カ) 脳血管疾患患者の言語機能や嚥下機能の回復を図るため、新たに言語聴覚士を配置して言語訓練等を行い、早期退院に向けた支援を行う。
- (キ) 呼吸器リハビリテーションを立ち上げ、肺炎等の呼吸器疾患患者へのリハビリテーションを実施する。

(2) 病院スタッフの確保と教育・研修

職種ごとの専門教育・専門研修の実施や病院間の人事異動等により職員一人ひとりのスキルアップを図るとともに、職員満足度調査を実施し、より働きやすい環境づくりを推進する。

また、看護師については、前年度に養成した認定看護師を各専門分野に配置し、看護レベルの向上を図るとともに、引き続き計画的に資格取得者の拡大に取り組むこととし、こども病院・感染症センターについては感染管理、福岡市民病院については集中ケアや皮膚・排泄ケア看護の部門における認定看護師を養成する。

【関連指標】

指 標	こども病院・感染症センター	福岡市民病院
	平成22年度実績値	平成22年度実績値
看護実習受入施設数（施設）	5	3
常勤看護師離職率（%）	8.9	15.4

(3) 信頼される医療

市民に信頼される良質な医療を提供するため、中期計画に掲げた服薬指導や栄養食事指導、クリニカルパスを活用した事前説明などの内容をさらに充実させるとともに、福岡市民病院については、感染防止対策として、院内感染防止対策チームの設置、感染状況の把握と対策、抗菌薬の適正使用等の更なる取り組みを行い、総合的な医療安全管理体制の強化を図る。

また、高度医療を担う病院として、新薬の開発等に貢献し、治療の効果や安全性を高めるため、積極的に新薬の開発治験に参加する。

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
服薬指導件数（件）	1,500	3,200	8,000	8,500
栄養食事指導件数（件）	220	270	950	1,000
クリニカルパス適用率 （%）	72.5	75.0	30.0	33.8

3 患者サービス

(1) 患者サービスの向上

引き続き、患者満足度調査を実施し、患者のニーズを的確に把握するとともに、診療の待ち時間の短縮などさらなる患者サービスの向上に努める。

また、クレジットカードによる医療費の支払を可能とするシステムを導入し、患者の利便性の向上を図る。

【目標値（こども病院・感染症センター）】

指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
退院時アンケートの 平均評価点数（点）※	4.4	4.5

※ 全入院患者に対し、入院時にアンケートを配付し、退院時に回収

10項目の視点（職種毎の接遇状況、病室等の環境、食事内容等）に対し、各5点満点で点数を記入してもらう。

【目標値（福岡市民病院）】

指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%）※	75.0	80.0

※ 職員の接遇や勤務態度等を中心に調査を実施

この調査において、非常に満足を感じられた患者の割合を記載

(2) ボランティアとの共働

ア こども病院・感染症センター

職員とボランティアが共働して互いに連携をとりながら、市民・患者の目線に立ったサービスの向上を図るため、より細やかな取組に努める。

ボランティアの協力を得て、親子ともども入院生活が過ごしやすくなるよう療養環境の向上を図る。

【関連指標（こども病院・感染症センター）】

指 標	平成22年度 実績値
植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4
お話し会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	5
プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	23
院内コンサート等開催数（回）	12

イ 福岡市民病院

植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施回数の拡大など、ボランティアとの連携を図りながら、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。

【関連指標（福岡市民病院）】

指 標	平成22年度 実績値
植栽ボランティア登録数（団体）	1
患者との対話ボランティア登録数（人）	1
院内コンサート開催数（回）	7

4 法令遵守と情報公開

市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令や内部規程の遵守を徹底するとともに、監事監査及び内部監査室による監査を実施し、内部統制の充実に努める。

また、法人の経営状況、専門医療に関する情報、各病院の役割及び医療内容、地域の医療機関との連携等について、ホームページへの掲載や情報誌の発行、講演会の開催等を通じて積極的に情報発信に取り組む。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 運営組織

市立病院機構の運営を的確に行うため、任期満了に伴う理事会の新体制（更新を含む。）を整えて理事会機能を維持するとともに、両病院及び本部事務局の組織体制の充実を図る。

また、病院経営に関する知識・経験を有する人材を民間等から採用するなど、事務部門の体制強化を進め、民間病院の管理職経験者をこども病院・感染症センターの経営企画課長として新たに配置する。

福岡市民病院においては、医師事務作業補助者の所属部署として診療支援室を新たに立ち上げ、病院勤務医師の負担軽減に向けてより一層努力する。

2 収支改善

(1) 増収

診療体制の充実や病床利用率の向上、高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。

また、診療報酬請求に係るチェック体制を強化し、請求漏れや査定減を防止するとともに、クレジットカード支払の導入等による未収金発生の防止や法的措置も含めた未収金回収マニュアルの作成等により、未収金対策の強化に取り組む。

〈こども病院・感染症センター〉

- ア 効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上を図る。
- イ 診療報酬チェック体制を見直し、医師との連携強化により診療報酬の請求精度を高める。
- ウ 地域周産期母子医療センターの認定に伴うDPC係数の増による増収を図る。
- エ 効率的な手術体制の構築等により、手術料収入の増収を図る。

〈福岡市民病院〉

- ア 救急医療のさらなる充実を目指して、夜間休日救急搬送医学管理料の新規加算を取得する。
- イ 新たに腎臓内科医師を配置し、腎疾患患者に対する診療を充実する。
- ウ 関節外科の専門医を新たに配置し、整形外科の診療領域を拡大させて患者数の増加を目指す。
- エ 難易度や専門性の高い手術料の引き上げに伴い、手術室の機器を整備し、高度な手術の件数の増加を図る。
- オ 認定看護師の配置や医師事務作業補助者の増員等により、各種診療報酬加算を取得する。
- カ 医師や看護師の負担軽減及び医療安全の向上を図るため、病棟薬剤業務実施加算を取得する。

キ 看護師の負担軽減を図るため、看護補助者を増員して急性期看護補助体制加算の上位基準を取得する。

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
病床利用率 (%) ※ 1	78.9	81.6	93.7	95.0
新規入院患者数 (人)	5,170	5,190	4,100	4,200
平均在院日数 (日) ※ 2	9.9	9.9	14.0	12.5
1人1日あたり入院単価 (円) ※ 2	92,617	97,945	56,447	56,500
1日あたり外来患者数 (人) ※ 2	276.0	292.0	250.0	300.0
1人1日あたり外来単価 (円) ※ 2	10,575	10,818	13,600	14,000
手術件数 (件) ※ 2	2,100	2,200	2,300	2,500
救急搬送件数 (件) ※ 2	720	720	2,100	2,200
診療報酬請求査定減率 (%)	0.20	0.20	0.10	0.09

※ 1 こども病院・感染症センターは、一・二類感染症を除く。

※ 2 再掲

(2) 費用削減

予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行い、効果的・効率的な事業運営に取り組む。

また、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や契約手法及び委託業務の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。

さらに、こども病院・感染症センターについては、給食業務を委託化し、品質を維持したうえで費用の削減を図る。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
材料費対医業収益比率	19.9	19.5	25.9	25.9
うち薬品費対医業 収益比率	6.1	6.3	9.9	9.9
うち診療材料費対 医業収益比率	13.1	12.6	15.8	15.9
委託費対医業収益比率	8.0	7.7	11.1	9.2
ジェネリック医薬品導 入率	7.0	8.0	21.0	24.0

3 人事・給与

職員の業績や能力等を客観的な基準で評価し、その結果を給与に反映させることにより、職員のモチベーションの維持・向上等を図るため、前年度より医師を対象とした人事評価制度を試行しており、その効果等を検証しながら、本格実施に向けた検討を進める。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
病院職員の給与費対医 業収益比率	62.0	59.1	56.9	55.9
	(退職給付費用を除く。) 59.3	(退職給付費用を除く。) 56.0	(退職給付費用を除く。) 54.4	(退職給付費用を除く。) 53.3

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

経営基盤の確立

市からの運営費負担金繰入後の経常黒字の達成を継続させるため、平成24年度に実施される診療報酬改定を的確に分析し、スピード感を持って戦略的に経営改善に取り組むなど、効率的・効果的な病院経営を行う。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
総収支比率	100.8	104.3	107.2	109.0
経常収支比率	101.0	104.6	107.6	109.5
医業収支比率	82.9	85.9	92.2	94.8

※ こども病院・感染症センターの医業収支比率は、新病院開院を控え、建物の減価償却費が増加することにより下落している。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 新病院に向けた取組

新病院整備等事業については、事業の再開にあたって、平成26年11月の開院を目指して、事業を推進することとしている。

平成24年度は、前年度に引き続き、諸室設計等の検討を進め、設計が完了する平成24年11月頃を目途に工事に着手するとともに、開院時の運営方法等について、運用フローの策定や業務委託の活用等の検討を進めるなど、着実な事業の推進に取り組んでいく。

2 福岡市民病院の経営改善の推進

引き続き、この計画による経営改善の取組を着実に進め、質の高い医療の提供及び患者サービスの向上に努めるとともに、経営の効率化を図る。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成24年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		12,316
医業収益		10,891
運営費負担金収益		1,390
補助金収益		35
営業外収益		193
運営費負担金収益		119
その他営業外収益		74
資本収入		745
運営費負担金		0
長期借入金		742
その他資本収入		3
その他の収入		0
計		13,254
支出		
営業費用		10,734
医業費用		10,578
給与費		6,229
材料費		2,464
経費		1,806
資産減耗費		1
研究研修費		79
一般管理費		156
営業外費用		198
資本支出		1,730
建設改良費		899
償還金		828
その他資本支出		3
その他の支出		42
計		12,704

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額6,324百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

2 収支計画（平成24年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収益の部		13,232
収益の部	営業収益	13,038
	医業収益	10,891
	運営費負担金収益	1,390
	補助金収益	35
	資産見返負債戻入※	722
	営業外収益	193
	運営費負担金収益	119
	その他営業外収益	74
	臨時利益	0
	費用の部	
費用の部	営業費用	12,171
	医業費用	12,014
	給与費	6,330
	材料費	2,464
	経費	1,806
	減価償却費	1,299
	資産減耗費	36
	研究研修費	79
	一般管理費	157
	営業外費用	198
臨時損失	42	
純利益		820
目的積立金取崩額		0
総利益		820

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）減価償却費 1,299 百万円は、※印の資産見返負債戻入相当額 722 百万円を含む。

3 資金計画（平成24年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	14,930
業務活動による収入	12,512
診療業務による収入	10,891
運営費負担金による収入	1,509
その他の業務活動による収入	112
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	742
長期借入れによる収入	742
その他の財務活動による収入	0
前年度からの繰越金	1,676
資金支出	14,930
業務活動による支出	11,014
給与費支出	6,324
材料費支出	2,464
その他の業務活動による支出	2,226
投資活動による支出	892
有形固定資産の取得による支出	748
その他の投資活動による支出	144
財務活動による支出	798
長期借入金の返済による支出	120
移行前地方債償還債務の償還による支出	678
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	2,226

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

2, 000百万円

2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（平成24年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	748	福岡市長期借入金等

2 人事に関する計画

人材育成プラン（仮称）を策定し，職員の業績な能力，特性等を見据えながら両病院及び本部事務局間で積極的に人事交流を行い，職員一人ひとりのスキルアップを図る。

また，引き続き計画的なプロパー職員の採用及び有期職員の活用等により，効率的な組織運営体制の構築を図る。